伊達武将隊歴史講座
支倉ないと ONLINE
【No.08】
2021 年 6 月 9 日

8. 祝おかえりモネ 登米と伊達家

登米＝とよま：明治以前の読みは「とよま」のみ　遠山に由来

登米＝とめ：維新後の登米県・水沢県設置後の県吏の誤読から？

伊達家の領地となる以前

・坂上田村麻呂による蝦夷征討、奥州藤原氏による支配を経て、奥州合戦の功績により葛西清重が奥州総奉行に任じられる

・戦国末期まで葛西氏が登米の支配を行う

・戦国後期には伊達家との関係を深めている

・政宗公の弟 小次郎君の墓（本吉郡横山）

・秀吉の奥州仕置により葛西氏改易

→木村吉清･清久父子の支配→**葛西大崎一揆**

伊達小次郎君墓所

寺池城は一揆勢が占領し、木村父子は佐沼城に籠城。蒲生氏郷は政宗公を一期の首謀者と疑い名生城に籠城。政宗公は単独で木村父子を助け出し名生城に送り届けるが、秀吉からの命令により上洛し申し開きを行う。奥州に戻り一揆の再討伐を行い、寺池城を陥落させ一揆鎮圧。政宗公は旧葛西大崎領に移封

慶長９年（1604）寺池城に水沢城主 白石宗直が入る

和賀忠親の一揆を支援した責任か？

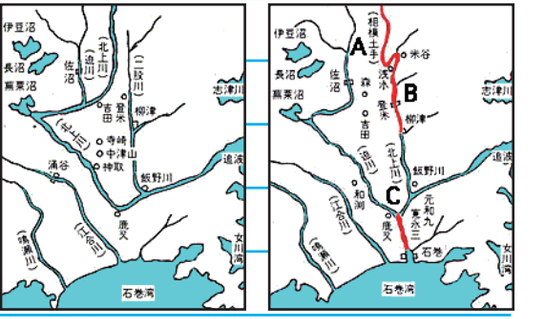
宗直の養父 白石宗実は慶長４年に伏見で没している

登米伊達家（白石家）

・**白石宗直**による北上川改修

「**相模土手**」の築堤

・**伊達姓の下賜と仙台藩一門**



白石宗直による北上川改修
画像は宮城県公式 HP より

・**伊達宗倫**による新田開発…隣接する領主との境目の争論も涌谷（伊達安芸宗重）との境目係争が**伊達騒動**の発端に

・宗倫は原田甲斐刃傷の前年に死没

覚乗寺に立派な御霊屋と家型厨子建立

・幕末までに登米伊達家は仙台藩主から５人の養子を嗣子として迎えている

・13 代邦教は戊辰戦争に従軍

・敗戦後は、他家が士族として残るべく画策する中、いち早く家臣全員の帰農を決断し自身の財産も分配した

・14 代基寧の窮状に元家臣等が土地を献上

覚乗寺高台院霊屋と厨子